

講演会型＋子育てサロン型（中学校）

学校名等	興文中学校
実施日時	平成30年6月9日
会場	興文中学校 柔剣道場
参加人数	保護者70名・第2学年生徒120名
学習課題（分野）	SNSの知識を深めよう
運営者の願い	土曜授業と参観日に合わせて、開講式と第1回学習会を開催した。中学生になるとスマートフォンの保有率が高くなり、SNSを通じて若年層が巻き込まれる事件が多発している。親子で講演会を聞き、SNSの危険性について学び、SNSの適切な使い方について考えるきっかけを提供したいとの思いで計画した。

学習の内容

<講演会>

講師：瑞浪市立瑞浪中学校教頭 酒井統康

どのようなSNSを知っているのかなど、講師が生徒や先生に問いかける形で講演会がスタートした。最初は生徒たちも緊張して聞いていたが、講師の問いかけに答える間に場の雰囲気が和み、良い緊張感の中で集中して話を聞くことができた。



一度SNSに写真や投稿などを挙げてしまうと、後で情報を削除しようとしても削除できないことや、同年代の子どもたちがSNSを通じて巻き込まれた事件など、便利なSNSに潜む危険や、誤った使い方について事例を挙げながら分かりやすくお話しいただいた。

スマートフォンを持っている生徒も多数おり、子どもをSNSの危険から守るために、必ず保護者がフィルタリングをかけること、使用時間や使う場所を親子で話し合うなど、保護者としてすべきことについて学ぶことができた。

講演会の後半にはネットの使用時間とテストの点数の関連を表したグラフを示され、中学生の今は、やりたいことよりもやらなければならないことが優先だと先生が話されると、説得力のある言葉に生徒も保護者も真剣に耳を傾ける様子が印象的であった。

<交流会>

講演会の後、保護者と講師だけ会場に残り、最初は講師への質問の時間を取り、その後3つのグループに分かれて、交流の機会を設けた。家庭でのインターネットやスマートフォンの使い方についての悩みなどを話し合った。同じ年齢の子どもを持つ親が抱える悩みは共通点も多く、短い時間ではあったけれど、交流の時間が持てたことは有意義だった。



<アンケートから>

- ・家庭での約束事をしっかりと決めたいと思った。SNSの良い点、悪い点がわかりやすく楽しい内容だった。
- ・子どもと同じ話が聞ける機会となり良かった。
- ・ディスカッション形式を取り入れて、生徒も参加して、集中力が途切れないようにしてよかった。ネット、ゲームのやり過ぎとテストとの関連性を示してもらえて有難かった。
- ・スマホ利用については、どこの家庭でも悩んでいることだと思うので、とても参考になった。
- ・少人数で自由に交流しやすく、ためになる話が聞けて良かった。



ポイント

親子で講演会を聞くことで情報が共有でき、家庭で子どもとインターネット、ゲーム、スマートフォンの使用について話し合うことができた。



ポイント

同じ年齢の子どもを持つ保護者の悩みは似ているので、互いの悩みに共感しながら、子どもへの接し方など話し合う機会が持てた。